

**平成22年度 大津市立粟津中学校
学習指導略案**

授業日時	平成23年1月17日(月) 5校時	教科	社会科
授業者	西本 仰	学級・授業場所	1年4組教室
<p>題材名 モンゴルの襲来と日本 PART 2 御家人と幕府 ~蒙古襲来絵詞より~</p>			
<p>【ねらい・目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 元寇の経緯について確認する。 ◎ 「蒙古襲来絵詞」より、幕府の御家人たちが命を懸けて戦った様子を知る。 ◎ 元寇という出来事が御家人や幕府にどのような影響を与えたかを考えさせる。 			
<p>【大まかな流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 元が日本に攻めてきた経緯を確認する。(前時の復習) ② 「蒙古襲来絵詞」の全体を見せた上で、5つの場面についてどのような場面であるのかを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵巻物全体をTVを使って見せる。 ・ 5つの場面(出陣の図、蒙古軍との陸上戦、安達泰盛との面会、石塁の前を進む季長軍、海上での戦い)をプリントで確認して、どのような場面かを班で話し合って考え、発表する。 ③ 元寇による影響を4つの観点にしぼって、班で考察し発表する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 御家人は恩賞にあずかる(領地を増やす)ために戦った。 2. 今までの国内の合戦とは異なり、外敵との戦いであったために、勝利しても得られるもの(土地)はまったくなかった。 3. 自己負担で命をかけて戦ったがほとんど恩賞をもらえなかったので、生活はこの先窮乏していく。 4. 与える恩賞(土地)がないため困った。御家人たちの不満を招いた。元寇に対する負担も大きかった。幕府の力が衰えていく大きな要因となった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 元寇という出来事が御家人にとっても幕府にとっても大きな負担となり、やがては鎌倉幕府が衰え、減んでいく遠因となることに気付かせる。 ・ 4つの質問事項について、班で割り当てて発表させる。 ④ 本時のまとめと次時の予告を聞く。 			
<p>【授業のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵を見て、何の場面かを正しく考えることができたか。 ・ 御家人と幕府の関係および元寇による御家人と幕府への影響をしっかりと考え、班の人々と意見交流をしてみることができたか。 			